

広島市立病院の概況について

区分	広島市民病院 (広島市中区基町)	安佐市民病院 (広島市安佐北区可部南)	舟入病院 (広島市中区舟入幸町)	総合リハビリテーションセンター (広島市安佐南区伴南)	広島市医師会運営・安芸市民病院 (広島市安芸区畑賀)								
1 沿革	開設：昭和27年国(厚生省)広島市経営委託 ○昭和33年：総合病院名称使用承認 ○昭和42年：救急病院指定 ○昭和52年：臨床研修病院指定 ○昭和52年：救命救急センター開設 ○平成9年：災害拠点病院指定 ○平成15年：国経営委託解除(広島市立広島病院) ○平成18年：総合周産期母子医療センター指定 ○平成18年：地域がん診療連携拠点病院指定 ○平成20年：増改築整備完了(平成15年10月～)	開設：昭和55年 ○昭和57年：総合病院名称使用承認 ○昭和57年：二次救急医療開始 ○昭和57年：救急病院指定 ○昭和60年：臨床研修病院指定 ○平成4年：北館増築 ○平成9年：災害拠点病院指定 ○平成22年：地域がん診療連携拠点病院指定 ○平成24年：へき地医療拠点病院指定	開設：明治28年広島市西伝染病院として開設 ○明治39年：広島市舟入病院改称 ○昭和23年：広島市立中央診療所開設(一般診療) ○昭和41年：広島市舟入被爆者健康管理所開設 ○昭和46年：広島市立舟入病院発足(舟入病院、中央診療所、舟入被爆者健康管理所を統合) ○昭和50年：休日夜間救急診療開始(内科・小児科) ○昭和52年：毎日夜間救急診療開始(同上) ○平成10年：本館改築 ○平成11年：第二種感染症指定医療機関指定 ○平成14年：小児救急医療拠点病院指定 ○平成18年：内科夜間救急診療の広島市民病院への移管開設	開設： ○平成20年3月：身体障害者更生相談所開設 ○平成20年4月：リハ病院(外来・2階50床)開設 〃：自立訓練施設開設 ○平成20年7月：リハ病院(1階50床)開設 ○平成20年：広島県高次脳機能地域支援センター指定 ※平成3年：基本構想策定 平成8年：基本設計 平成17年：病院開設許可 平成18年：建設工事着手	開設：平成13年、国立療養所畑賀病院が廃止され、広島市に移管後、公設民営、広島市医師会運営・安芸市民病院開設 ○平成18年：指定管理者制度を導入し、広島市医師会を指定管理者に指定(指定期間H18.4.1～H28.3.31) ※昭和8年：広島市立畑賀病院(定床24(結核)) 昭和18年：日本医療財団へ移管 昭和22年：厚生省へ移管 昭和49年：国立療養所畑賀病院改称 昭和61年：国が「国立病院・療養所の再編成の全体計画」を公表(畑賀病院が統合の対象) 平成7年：結核病床(50床)閉鎖								
2 特徴	市域の中核病院として、広島市民だけでなく広域に患者受入れを行っており、 <u>全国でも有数の症例数を誇っている。</u>	市北部地域の中核病院として、安佐北区、安佐南区を中心に、 <u>県北西部地域の患者も受入れを行っている。</u>	小児救急の中核病院として、24時間365日小児救急患者の受入れを行っている。 また、 <u>第二種感染症指定医療機関</u> として、平成21年度の新型インフルエンザ流行時には患者治療において重要な役割を担った。	脳血管障害等の疾病や交通事故等に伴う脊髄損傷等による中途障害者に対して、 <u>相談・評価から医療・訓練、就労援助までの一貫したリハビリテーションサービス</u> を提供し、社会復帰を促進している。	通常診療に加え、 <u>土・日曜日・祝日(準夜帯)の内科・外科診療、土曜日診療を行うとともに、緩和ケア医療、人工透析医療を行っている。</u>								
3 病院概要 ※実績は、平成22年度数値	<p>(1) 病床数 743床(一般715床、精神28床)</p> <p>(2) 診療科目 28科</p> <p>(3) 1日当たり患者数 入院 711人/日(病床利用率95.7%) 外来 1,710人/日</p> <p>○政令市の市立病院との比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>延入院患者数</th> <th>延外来患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第3位 259,549人</td> <td>第5位 413,797人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 政令都市立の病院(45病院)での比較</p> <p>(4) 主な診療体制</p> <p>①救命救急センター 26床 脳卒中、心筋梗塞、頭部外傷等、重篤な救急患者を対象とした三次救急医療を実施 ・心臓冠動脈疾患集中治療室(CCU)8床 ・脳血管障害疾患集中治療室(NCU)8床 ・高度治療室(HCU)10床</p> <p>②救急科 救急患者の受入窓口としての機能を有し、24時間365日体制で診療を実施</p> <p>③集中治療室(ICU)10床 手術後及び重篤患者の集中治療を実施</p> <p>④総合周産期母子医療センター 69床 危険度の高い妊産婦や新生児に対する高度な治療を24時間365日体制で実施 ・重症新生児集中治療管理室(NICU)9床 ・新生児回復期治療室(GCU)24床 ・母体・胎児治療管理室6床、後方病床30床</p> <p>⑤人工腎臓センター30床</p> <p>(5) 医療機能の充実に向けた最近の取組</p> <p>①救急医療機能の強化 救急搬送における受入困難事例の救急患者を救急医療コントロール機能病院として一旦受入れ、初期治療を行った上で、支援医療機関への転院を行っている。(平成23年10月から一部稼働。平成25年度から本格稼働予定)</p> <p>②手術支援ロボットの導入 低侵襲治療の充実に図るため、手術支援ロボット『ダヴィンチ』を導入する。</p>	延入院患者数	延外来患者数	第3位 259,549人	第5位 413,797人	<p>(1) 病床数(一般) 527床</p> <p>(2) 診療科目 23科</p> <p>(3) 1日当たり患者数 入院 473人/日(病床利用率89.7%) 外来 860人/日</p> <p>○政令市の市立病院との比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>延入院患者数</th> <th>延外来患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第12位 172,583人</td> <td>第19位 208,219人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 政令都市立の病院(45病院)での比較</p> <p>(4) 主な診療体制</p> <p>①救急医療 広島市北部及び県北西部の中核病院として一次・二次救急医療を実施 実質的には、三次救急患者の受入れを実施</p> <p>②集中治療部 23床 手術後及び重篤患者を対象とした高次治療を実施 ・集中治療室(ICU)8床 ・心臓冠動脈疾患集中治療室(CCU)4床 ・高度治療室(HCU)11床</p> <p>(5) 医療機能の充実に向けた最近の取組</p> <p>①がん診療機能の強化 がん診療機能の強化を図るためのPET-CT(陽電子放射断層装置)の整備</p> <p>②建替等の検討 築後31年が経過する南棟の老朽化・狭隘化による建替え等</p>	延入院患者数	延外来患者数	第12位 172,583人	第19位 208,219人	<p>(1) 病床数 190床(一般140床、感染50床)</p> <p>(2) 診療科目 14科</p> <p>(3) 1日当たり患者数 入院 103人/日(一般病床利用率76.9%) 外来 354人/日</p> <p>(4) 主な診療体制</p> <p>①救急医療(広島市・安佐・安芸地区医師会、広島大学等の協力を得て実施) ・小児科：24時間365日 ・耳鼻咽喉科：土曜日夜間、年末年始 ・内科及び眼科：年末年始</p> <p>②小児専門医療 ・小児心療科 ・小児外科 ・小児皮膚科</p> <p>③感染症治療 第二種感染症指定医療機関として、新型インフルエンザ等の感染症患者の治療を実施</p>	<p>◎リハビリテーション病院 (医学的リハビリテーション部門)</p> <p>①病床数 100床 ②診療科目 9科 ③1日当たり患者数 入院 97人/日(病床利用率96.6%) 外来 15人/日</p> <p>◎身体障害者更生相談所 (総合相談部門)</p> <p>◎自立訓練施設 (社会復帰、職業的リハビリテーション部門)</p> <p>① 定員 ・自立訓練(機能訓練) 60人 〔うち施設入所支援50人〕 〔中途視覚障害者10人程度を受入れ含む〕 ・短期入所支援5人</p> <p>② 1日当たり利用者数 26人</p>	<p>(1) 病床数 140床 (一般80床(うち緩和ケア20床)、療養60床)</p> <p>(2) 診療科目 6科</p> <p>(3) 1日当たり患者数 入院 135人/日(病床利用率96.2%) 外来 184人/日</p> <p>(4) 主な診療体制</p> <p>①救急医療等 救急医療のほか、土曜日、日曜日、祝日の夜間診療(安芸地区医師会の協力を得て実施)</p> <p>②土曜日診療(水曜日休診)</p> <p>③緩和ケア 末期がんなどの患者に対して精神的な苦しみや身体的な痛みを取り除くための治療を実施</p> <p>③人工透析 人工透析装置16台により、腎臓機能に障害のある患者に対する治療を実施</p>
延入院患者数	延外来患者数												
第3位 259,549人	第5位 413,797人												
延入院患者数	延外来患者数												
第12位 172,583人	第19位 208,219人												

区分	広島市民病院	安佐市民病院	舟入病院	総合リハビリテーションセンター	広島市医師会運営・安芸市民病院
	●職員数 1,393人 (314人) 医師 241人 (115人) 看護師 827人 (45人) 医療技術職員 140人 (4人) 事務職 134人 (107人) 技能業務員 51人 (43人) ※平成24年4月現在 () 嘱託職員数で内数	●職員数 925人 (244人) 医師 132人 (62人) 看護師 538人 (39人) 医療技術職員 105人 (15人) 事務職 105人 (84人) 技能業務員 45人 (44人) ※平成24年4月現在 () 嘱託職員数で内数	●職員数 202人 (11人) 医師 28人 (一人) 看護師 125人 (2人) 医療技術職員 34人 (4人) 事務職 10人 (一人) 技能業務員 5人 (5人) ※平成24年4月現在 () 嘱託職員数で内数	●職員数 170人 (7人) 医師 9人 (1人) 看護師 62人 (2人) 医療技術職員 66人 (1人) 事務職 33人 (3人) ※平成24年4月現在 () 嘱託職員数で内数	●職員数 141人 医師 12人 看護師 90人 医療技術職員 16人 看護助手 15人 事務職 8人 ※平成24年4月現在
4 収益の状況 (平成22年度決算)	(1) 総収益 262.3億円 (うち一般会計繰入金 15.9億円) (2) 総費用 261.9億円 (3) 損益 0.4億円	(1) 総収益 140.9億円 (うち一般会計繰入金 8.5億円) (2) 総費用 136.2億円 (3) 損益 4.7億円	(1) 総収益 35.5億円 (うち一般会計繰入金 7.7億円) (2) 総費用 37.4億円 (3) 損益 ▲1.9億円	(1) 総収益 18.3億円 (うち一般会計繰入金 2.8億円) (2) 総費用 21.4億円 (3) 損益 ▲3.1億円	(1) 総収益 18.6億円 (うち一般会計繰入金 0.9億円) (2) 総費用 19.3億円 (3) 損益 ▲0.7億円

広島市立病院及び市内基幹病院の位置図

